

# ダウ・ジョーンズ平均 メソドロジー

2023年12月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は [www.spglobal/spdji.com](http://www.spglobal/spdji.com) よりご覧いただけます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：指数メソドロジー

# 目次

はじめに	3
<b>指数の目的及びハイライト</b>	<b>3</b>
<b>補足資料</b>	<b>4</b>
適格性基準	5
<b>指数の適格性</b>	<b>5</b>
指数の構築及び維持	6
<b>ダウ・ジョーンズ工業株価平均™、ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™、及びダウ・ジョーンズ公共株価平均™</b>	<b>6</b>
<b>ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数</b>	<b>6</b>
<b>ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数</b>	<b>6</b>
<b>構成銘柄のウェイト付け</b>	<b>8</b>
<b>コーポレート・アクション</b>	<b>8</b>
<b>計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ</b>	<b>9</b>
<b>マルチ・シェア・クラス</b>	<b>9</b>
<b>その他の調整</b>	<b>9</b>
<b>指数の計算</b>	<b>9</b>
<b>基準日と過去のデータ</b>	<b>10</b>
指数データ	11
<b>リターン・タイプの計算</b>	<b>11</b>
指数ガバナンス	12
<b>指数委員会</b>	<b>12</b>
指数方針	13
<b>公表</b>	<b>13</b>
<b>形式的なファイル</b>	<b>13</b>
<b>休日スケジュール</b>	<b>13</b>
<b>予定外の市場の閉鎖</b>	<b>13</b>
<b>再計算の方針</b>	<b>13</b>
<b>リアルタイムの計算</b>	<b>13</b>
<b>お問い合わせ先</b>	<b>14</b>
指数の配信	15

	ティッカー	15
	指数データ	15
	ウェブサイト	15
付属資料 I		16
付属資料 II		17
	メソドロジーの変更	17
S&P Dow Jones Indices 免責事項		18
	パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	18
	知的財産権/免責条項	19

# はじめに

## 指数の目的及びハイライト

**ダウ・ジョーンズ工業株価平均™**：当指数は 30 銘柄で構成される価格加重指数であり、米国の最大手企業 30 社の株価パフォーマンスを測定します。この指数には様々なセクターの構成銘柄が含まれていますが、世界産業分類基準（GICS）の資本財・サービス・セクター内にある運輸産業グループと、公益事業セクターの構成銘柄については除外されており、それぞれダウ・ジョーンズ輸送株価平均™及びダウ・ジョーンズ公共株価平均™でカバーされています。

**ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™**：当指数は 20 銘柄の株価加重指数であり、米国の輸送産業グループにおける最大手企業 20 社の株価パフォーマンスを測定します。

**ダウ・ジョーンズ公共株価平均™**：当指数は 15 銘柄の株価加重指数であり、米国の公共事業セクターにおける最大手企業 15 社の株価パフォーマンスを測定します。

**ダウ・ジョーンズ総合平均™**：当指数は米国大手企業 65 社の株価加重指数であり、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™、ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™、及びダウ・ジョーンズ公共株価平均™の全ての構成銘柄を含んでいます。

**ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数**：当指数には、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™の構成銘柄の中で配当を支払っている全ての銘柄が含まれています。各リバランス時点で、構成銘柄はそれぞれの年間配当利回りにより加重されます。

**ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数**：当指数には、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™の全ての銘柄が含まれています。各リバランス時点で、構成銘柄は均等加重されます。

## 補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれることを意図しています。補足資料では、ここに記載されている方針、手順、及び計算に関するより詳しい説明を提供しています。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介しており、詳細についてはそちらを参照ください。このメソドロジーの主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクのリストは以下の通りです。：

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)	<a href="#">株価指数方針及び実務メソドロジー</a>
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)	<a href="#">指数算出メソドロジー</a>
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの世界産業分類基準 (GICS) メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Global Industry Classification Standard (GICS) Methodology)	<a href="#">世界産業分類基準(GICS)メソドロジー</a>

このメソドロジーは、このメソドロジー資料により管理される各指数に対する投資家の関心を測定するとの上記の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われます。

# 適格性基準

## 指数の適格性

下表は、各指数の指数ユニバースについて説明しています。

指数	指数ユニバース
• ダウ・ジョーンズ工業株価平均™	この指数のユニバースは、S&P 500 の構成銘柄から成っている（ただし、世界産業分類基準（GICS）のコード 2030（運輸）及び 55（公益事業）に分類される銘柄を除く）。
• ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™	この指数のユニバースは、S&P トータル・マーケット指数の構成銘柄の中で GICS のコード 2030 に分類される銘柄から成っている。
• ダウ・ジョーンズ公共株価平均™	この指数のユニバースは、S&P トータル・マーケット指数の構成銘柄の中で GICS のコード 55 に分類される銘柄から成っている。
• ダウ・ジョーンズ総合平均™	この指数には、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™、ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™、及びダウ・ジョーンズ公共株価平均™の全ての構成銘柄が含まれている。
• ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数 • ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数	ダウ・ジョーンズ工業株価平均™の全ての構成銘柄は、これらの指数の適格要件を満たしている。

# 指数の構築及び維持

## ダウ・ジョーンズ工業株価平均™、ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™、及びダウ・ジョーンズ公共株価平均™

銘柄選択は定量的なルールに従ったものではありませんが、採用銘柄は主として、企業の評判が高く、持続的な成長を達成し、多くの投資家が高い関心を示すものに限られます。これらの指数は株価加重であるため、指数委員会は、企業の指数への採用を検討する際には株価を評価します。指数委員会は、指数の中で最も株価の高い銘柄が最も株価の安い銘柄の10倍以上であるかどうかを監視します。ダウ・ジョーンズ工業株価平均™の銘柄選択については、指数内で適切なセクター配分を維持できることも考慮されています。各企業は米国で設立され、米国に本店を構えている必要があります。さらに、売上高の大部分は米国からもたらされている必要があります。

これらの指数の構成銘柄の変更は必要に応じて行われます。年間または半年ごとの指数の再構築は行いません。一方、コーポレート・アクションや市場動向に対応していつでも変更を行うことが可能です。構成銘柄の変更は通常、変更が行われる予定日の1~5日前に発表されます。

いかなる時点でも、ダウ・ジョーンズ総合平均は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均、ダウ・ジョーンズ輸送株価平均、及びダウ・ジョーンズ公共株価平均の全ての構成銘柄で構成されています。

## ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数

この指数は年2回リバランスされ、3月と9月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。リバランス参照日は2月と8月の最終取引日です。

リバランスのプロセスは以下の通りです：

1. 当指数には、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™の構成銘柄の中で配当を支払っている全ての銘柄が含まれます。
2. 当指数は、リバランス参照日現在の年間配当利回りに基づいた利回り加重方式を採用しています。配当利回りは、銘柄の年間配当額（特別配当は含まれない）を株価により除することで求められます。
3. 3月と9月の第2金曜日の終値に基づいて指数構成銘柄を選定します。

半年毎（年2回）のリバランスの間に、構成銘柄がダウ・ジョーンズ工業株価平均™から除外された場合は、同時に当指数からも除外されます。現在の構成銘柄が配当の支払いを停止した場合、同銘柄は、その後の3月、6月、9月、または12月の第3金曜日の取引終了後に指数から除外されます。

スピンオフの場合を除き、リバランスとリバランスの間で、指数に追加が行われることはありません。

## ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数

この指数は四半期ベースでリバランスされ、リバランスのタイミングは、3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後です。

リバランスのプロセスは以下の通りです：

1. 当指数には、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™の構成銘柄の中で配当を支払っている全ての銘柄が含まれます。
2. 各四半期のリバランス時点で、企業は各四半期の最終月の第2金曜日時点の株価を参照価格として使用し、均等に加重されます。

四半期のリバランスの間に、構成銘柄がダウ・ジョーンズ工業株価平均™から除外された場合は、同時にその銘柄は当指数から除外されます。新たに置き換えられる銘柄は、除外された銘柄と同じウェイトでこの指数に加えられます。



## 構成銘柄のウェイト付け

下表は、各指数のウェイト付けアプローチを説明しています。

指数	アプローチ
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウ・ジョーンズ工業株価平均™</li> <li>ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™</li> <li>ダウ・ジョーンズ公共株価平均™</li> <li>ダウ・ジョーンズ総合平均™</li> </ul>	これらの指数は株価加重方式を採用している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数</li> </ul>	この指数は均等加重です。
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数</li> </ul>	この指数は利回り加重方式を採用している。

## コーポレート・アクション

コーポレート・アクションについては、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務メソドロジーに詳述しています。同メソドロジーの価格加重指数、均等加重指数、及び修正時価総額加重指数の項目を参照ください。

スピノフ、スピノフによる指数構成銘柄への潜在的影響については、指数委員会がケースバイケースで評価します。

指数	アプローチ
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウ・ジョーンズ工業株価平均™</li> <li>ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™</li> <li>ダウ・ジョーンズ公共株価平均™</li> <li>ダウ・ジョーンズ総合平均™</li> </ul>	親会社の株価は、「親会社の株価」から「スピノフされた企業の株価 / 株式交換比率」を差し引いたものに調整される。同時に指数の除数も調整される。
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数</li> </ul>	<p>スピノフされた企業は権利落ち日にゼロの株価でこの指数に追加され、除数の修正は行われな</p> <p>い。</p> <p>スピノフされた企業が永久に追加されない場合は、スピノフされた企業は最初の通常取引日後に除外され、そのウェイトは指数に按分して再配分される。同時に指数の除数は調整される。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数</li> </ul>	<p>スピノフされた企業は権利落ち日にゼロの株価でこの指数に追加され、除数の調整は行われな</p> <p>い。</p> <p>スピノフされた企業が永久に指数に追加されない場合、同企業は最初の通常取引日後に除外され、そのウェイトは親会社に再配分される。この指数の除数は調整されない。</p> <p>スピノフされた企業が指数から除外される企業と入れ替えられる場合、入替有効日に、スピノフされた企業のウェイトは親会社に再配分される。その再配分後に、指数から除外された企業のウェイトはスピノフされた企業に再配分される。この指数の除数は調整されない。</p> <p>スピノフされた企業がこの指数において親会社と入れ替えられる場合、入替有効日に、親会社のウェイトはスピノフされた企業に再配分される。この指数の除数は調整されない。</p>

## 計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

指数は米ドルで計算されます。ダウ・ジョーンズ工業株価平均™は日本円でも計算されます。さらに、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™は要請に応じてカナダドルやユーロでも計算されます。

外国為替レートは WMR のロンドン時間午後 4 時のレートが適用され、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™ (日本円バージョン) の 1 日の終了時の計算に利用されます。仲値は LSEG のデータに基づいて WMR が計算し、LSEG のページに表示されます。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均™ 日本円ヘッジ・レバレッジ (2 倍) 指数は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™ 日本円ヘッジ指数の 2 倍レバレッジド・バージョンであり、借入金利として 3 ヶ月物日本円 TIBOR を使用します。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均™ 日本円ヘッジ・インバース指数は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均™ 日本円ヘッジ指数の 1 倍インバース・バージョンであり、貸付金利として 3 ヶ月物日本円 TIBOR を使用します。

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、これらの指数の追加のリターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合もあります。利用可能なバージョンには、通貨バージョン、通貨ヘッジ・バージョン、減衰バージョン、公正価値バージョン、インバース・バージョン、レバレッジド・バージョン、及びリスク・コントロール・バージョンなどが含まれます (ただし、これらに限定されない)。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

様々な指数タイプの計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「*指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)*」を参照ください。

特定の指数タイプ (減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など) を計算するために必要なインプットについては、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

## マルチ・シェア・クラス

各企業は指定上場株式によってのみ表されます。マルチ・シェア・クラスの取り扱いに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務メソドロジーのマルチ・シェア・クラス・セクション内のアプローチ B を参照ください。

## その他の調整

除外される銘柄に市場価格がない場合、破産した会社の銘柄、或いは取引中止となった銘柄の取引において投資家が直面する制約を考慮し、指数委員会の裁量により、そうした銘柄はゼロか、或いは最小限の株価で除外される場合があります。

## 指数の計算

これらの指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指数において使用される除数メソドロジーに従って計算されます。

指数計算メソドロジーに関する詳細については、「*S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)*」を参照ください。

## 基準日と過去のデータ

下表は、指数の過去履歴の利用可能性、基準日、及び基準価値を示しています。

指数	算出開始日	最初の評価日	基準日	基準価額
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™	1896年5月26日	1896年5月26日	1896年5月26日	40.94
ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™	1896年10月26日	1896年10月26日	1896年10月26日	51.72
ダウ・ジョーンズ公共株価平均™	1929年1月2日	1929年1月2日	1929年1月2日	85.64
ダウ・ジョーンズ総合平均™	1934年1月2日	1934年1月2日	1934年1月2日	39.57
ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数	2015年12月8日	1991年12月31日 C 2013年3月15日 D	1991年12月31日 C 2013年3月15日 D	1000
ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数	2017年2月13日	1991年12月31日 C 2013年3月15日 D	1991年12月31日 C 2013年3月15日 D	1000
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™日本円ヘッジ・レバレッジ(2倍)指数	2013年9月27日	2013年9月27日	2007年12月31日	1000
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™日本円ヘッジ・インバース指数	2013年9月27日	2013年9月27日	2007年12月31日	1000
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™日本円ヘッジ指数	2013年9月27日	2013年9月27日	2007年12月31日	1000

<sup>A</sup> 株価リターン

<sup>B</sup> トータル・リターン

<sup>C</sup> 株価リターン及びトータル・リターン

<sup>D</sup> ネット・トータル・リターン

# 指数データ

## リターン・タイプの計算

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、定期的な現金配当の取り扱いが異なる複数のリターン・タイプの指数を計算しています。定期的な現金配当の分類は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定します。

- 価格リターン (PR) バージョンは、定期的な現金配当の調整を行わずに計算されます。
- グロス・トータル・リターン (TR) バージョンは、源泉税を考慮せずに、配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資します。
- ネット・トータル・リターン (NTR) バージョンは、可能な場合、源泉税を控除した後に配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資します。

配当落ち日に定期的な現金配当がない場合、3つの指数の日々のパフォーマンスは同一となります。

指数の詳細なリストについては、日々の指数水準ファイル（以下、「.SDL」という）を参照ください。

定期的な現金配当と特別現金配当の分類や、ネット・リターン指数の計算で使用される税率に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「株価指数方針及び実務 (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Procedures)」メソドロジーを参照ください。

リターン・タイプの計算及び詳細に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)」を参照ください。

# 指数ガバナンス

## 指数委員会

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、ダウ・ジョーンズ輸送株価平均、及びダウ・ジョーンズ公共株価平均は株価平均委員会が維持しています。この委員会は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの3名の代表者と、ウォール・ストリート・ジャーナルの2名の代表者から構成されています。

残りの指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス指数委員会が維持しています。この委員会の全てのメンバーはS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスのスタッフであり、常勤のプロフェッショナル・メンバーとなっています。

各委員会は定期的に会合を開いています。各会合で、委員会は、指数構成銘柄に影響する可能性のある差し迫ったコーポレート・アクションや、指数構成銘柄と市場を比較する統計データ、指数への追加の候補となっている企業、その他の重大な市場イベントなどについて協議を行います。さらに、この委員会は企業の選択、配当の取り扱い、株数、またはその他の事項に関するルールをカバーしている指数方針を修正する場合があります。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数の変更や、潜在的に市場に影響を及ぼす可能性のある重要な関連事項に関する情報を考慮します。したがって、指数委員会の協議内容は全て非公開となります。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも十分な通知を受け取ります。

指数の日々のガバナンスや指数の維持に加え、指数委員会は12ヶ月間に少なくとも1回、メソドロジーをレビューすることで、記載されている目標を指数が引き続き達成し、データやメソドロジーが依然として有効であることを確保します。場合によって、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは相談を実施し、外部当事者からのコメントを要請する場合があります。

メソドロジーの品質保証及び社内レビューに関する情報については、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務 (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices) メソドロジーを参照ください。

# 指数方針

## 公表

全ての指数構成銘柄は、指数の水準やリターン計算に必要なデータのために毎日評価されます。毎日の指数算出に影響を与える全てのイベントは通常、指数コーポレート・イベント・レポート（.SDE）を通じて事前に公表され、全ての顧客にファイル・トランスファー・プロトコル（FTP）により発信されます。また、コーポレート・アクションに対する通常と異なる取り扱いや、イベントに関する緊急連絡については、必要に応じて電子メールで顧客に送達されます。

プレス・リリースはウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) に掲示され、主要なニュース・サービスに公表されます。

詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices）メソドロジーの公表セクションを参照ください。

## 形式的なファイル

ダウ・ジョーンズ株価平均を除いて、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、リバランスごとに各指数について、構成銘柄のプロフォーマ（事前予想）・ファイルを提供します。プロフォーマ・ファイルは通常、リバランス日前に提供され、その中には、リバランスにおいて有効となる全ての構成銘柄やそのウェイト及び指数組入株式数が収録されています。指数組入株式数は、リバランスの適用日前の株価に基づいて割り当てられている場合、市場動向により、リバランス時の各銘柄の実際のウェイトは、これらのウェイトとは異なります。

リバランスの予定やプロフォーマの提供予定など正確なスケジュールについては、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) をご覧ください。

## 休日スケジュール

指数は、米国株式市場が開いているときに計算されます。

年間の休日スケジュールについては、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。

## 予定外の市場の閉鎖

予定外の市場の閉鎖に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices）メソドロジーを参照ください。

## 再計算の方針

再計算方針に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices）メソドロジーを参照ください。

## リアルタイムの計算

特定の指数については、米国の取引時間中にリアルタイムで指数の計算が行われます。リアルタイム指数が再表示されることはありません。

計算、価格の途絶、専門家の判断、及びデータのヒエラルキーに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務（S&P Dow Jones Indices' & Equity Indices Policies & Practices）メソドロジーを参照ください。

## お問い合わせ先

指数に関するご質問は、以下までご連絡ください：

[mailto:index\\_services@spglobal.com](mailto:index_services@spglobal.com).

# 指数の配信

指数水準については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) や、主要な情報ベンダー（以下のコードを参照ください）、投資関連ウェブサイト、活字及び電子メディアなどをご覧ください。

## ティッカー

以下の表は、本資料がカバーしている主要な指数のリストです。以下の指数の全てのバージョンも、本資料がカバーしています。本資料がカバーしている指数の詳細なリストについては、[S&P DJI メソッドロジー及び規制状況データベース](#) を参照ください。

指数（通貨）	リターン・タイプ	BBG	ロイター
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™（米ドル）	価格リターン トータル・リターン	DJI DJITR	.DJI .DJITR
ダウ・ジョーンズ輸送株価平均™（米ドル）	トータル・価格リターン トータル・リターン	TRAN DJTTR	.DJT .DJTTR
ダウ・ジョーンズ公共株価平均™（米ドル）	価格リターン トータル・リターン	UTIL DJUTR	.DJU .DJUTR
ダウ・ジョーンズ総合平均™（米ドル）	価格リターン トータル・リターン	COMP DJCTR	.DJA .DJCTR
ダウ・ジョーンズ工業株価平均利回り加重指数	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	DJIYW DJIYWT DJIYWN	.DJIYW -- --
ダウ・ジョーンズ工業株価平均均等加重指数	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	DJIEW DJIEWTR DJIEWNTR	.DJIEW .DJIEWTR .DJIEWNTR
ダウ・ジョーンズ工業株平均™日本円ヘッジ・レバレッジ（2倍）指数	価格リターン トータル・リターン	DJIA2LJP DJIA2LJT	.DJIA2LJP .DJIA2LJT
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™日本円ヘッジ・レバレッジ（2倍）指数	価格リターン トータル・リターン	DJIAIJP DJIAIJT	.DJIAIJP .DJIAIJT
ダウ・ジョーンズ工業株価平均™日本円ヘッジ・インパース指数	価格リターン トータル・リターン	DJIHJ DJIHJT	.DJIHJ .DJIHJT

## 指数データ

日次の構成銘柄や指数水準データは、申込みにより、FTP 経由で取得可能です。

商品に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/en/contact-us](http://www.spglobal.com/spdji/en/contact-us) を参照ください。

## ウェブサイト

詳しい情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。



# 付属資料 I

## ダウ・ジョーンズ工業株価平均 日本円ヘッジ指数 (T-1 TTM)

指数の目的：この指数は、為替変動の影響をヘッジした原指数のパフォーマンスを測定します。

**原指数：**ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (指数コード：DJI)。原指数に関する詳細については、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)に掲載されているダウ・ジョーンズ工業株価平均の指数メソドロジーを参照ください。

**計算に用いる通貨：**この指数は日本円で算出されます。

**為替レート：**三菱 UFJ 銀行が公示する TTM (対顧客電信相場仲値) 外国為替レートを用いて指数価値を算出します。指数価値は、T+1 の TTM 為替レートを用いて算出され、算出日に公表されます。

**休日スケジュール：**この指数は日本の株式市場が開いている時に算出されます。年間の休日スケジュールについては、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)をご覧ください。

**リバランス：**この指数は毎月リバランスされます。ヘッジに必要な金額は、日本の最終営業日 (LBD) の TTM 為替レートと、「LBD-1」の原指数の価値により決定されます。米国市場の休場で、「LBD-1」の原指数の価値が存在しない場合、直近の指数価値が使用されます。

**ヘッジ：**この指数における日次リターン・シリーズは、スポット価格とフォワード価格の間で補間することにより計算されます。

各ヘッジ月  $m$  において、 $d = 1, 2, 3 \dots D$  の営業日数があります。

$md$  はヘッジ月  $m$  の  $d$  日であり、 $m0$  はヘッジ月  $m - 1$  の最終営業日です。

$F_{I_{md}}$  =  $m$  月の  $d$  日時点における補完されたフォワード・レート

$S_m$  = 日本円に対する米ドルのスポット・レート (USD/JPY)

$F_m$  = 日本円に対する米ドルのフォワード・レート (USD/JPY)

$HR_{md}$  = ヘッジ・リターン (%)

$SPI_{E_m}$  = 日本円建ての原指数の水準

$SPI_{EH_m}$  = ヘッジ指数の水準

$$F_{I_{md}} = S_{md} + \left(\frac{D-d}{D}\right) * (F_{md} - S_{md})$$

$$HR_{md} = \frac{S_{m0}}{F_{m0}} - \frac{S_{m0}}{F_{I_{md}}}$$

$$SPI\_EH_{md} = SPI\_EH_{m0} * \left( \frac{SPI\_E_{md}}{SPI\_E_{m0}} + HR_{md} \right)$$

## 付属資料 II

### メソドロジーの変更

変更	有効日 (取引終了後)	メソドロジー	
		以前	アップデート
指数の借入金利： ダウ・ジョーンズ工業株価 平均™ 日本円ヘッジ・レ バレッジ (2倍) 指数	2021年11月 19日	この指数では、借入金利として3ヶ月物LIBORを使用していました。	この指数では、借入金利として3ヶ月物日本円TIBORを使用します。
指数の貸付金利： ダウ・ジョーンズ工業株価 平均™ 日本円ヘッジ・イン バース指数	2021年11月 19日	この指数では、貸付金利として3ヶ月物LIBORを使用していました。	この指数では、貸付金利として3ヶ月物日本円TIBORを使用します。

# S&P Dow Jones Indices 免責事項

## パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indicesは、透明性を提供する顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の(現実またはバックテストの)計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indicesでは、ローンチ日につき、例えばS&P Dow Jones Indicesの公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入されたDow Jonesブランドの指数については、ローンチ日(2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた)は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加及び削除の基準、ならびに全ての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報は全て、仮説に基づく(バックテストされた)ものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク(ブロックチェーンの分岐)の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ5イコール・ウェイト指数及びS&P 暗号通貨トップ10イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスによい影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうる全ての財務リスクを考慮したのではなく、生存者バイアス/先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般にS&P DJIでは、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ(過去の株価、時価総額、及び企業活動に関するデータ等)を使用します。ESG投資はまだ開発の初期段階にあるため、S&P DJIのESG関連インデックスを作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたり入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となる全ての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJIでは、ESGデータの「バックワード・データ・アサンプション」(または、引き戻し)と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「バックワード・データ・アサンプション」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータ全てに、入手可能な実際のデータポイントのうち最も過去のものを用いるプロセスを指します。例えばバックワード・データ・アサンプションでは、その前提として、特定の業務活動(「製品関与」と呼ぶ場合もある)を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行ったことがないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもかかる活動を行っていたと想定します。バックワード・データ・アサンプションは、実際のデータのみを使用する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「バックワー

ド・データ・アサンプション」について詳しく知りたい場合は、FAQをご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、バックワード・データ・アサンプションを採用している指数では、そのメソドロジー及びファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイント及び当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産/証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indicesは、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、実際の資産を管理してはいません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券/ファンドの実際及びバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10万米ドルの投資に指数が12ヶ月間に10%の収益率（つまり1万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に1.5%の実際の資産ベースの手数料（つまり1,650米ドル）が課されると、1年間の純収益率は8.35%（つまり8,350米ドル）になります。3年間にわたり、年10%の収益率で、年末に年1.5%の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は33.10%、合計手数料は5,375米ドル、及び累積純収益率は27.2%（つまり2万7,200米ドル）になります。

### 知的財産権/免責条項

© 2023 S&P Dow Jones Indices. 無断複写・転載を禁じます。S&P, S&P 500, SPX, SPY, The 500, US 500, US 30, S&P 100, S&P COMPOSITE 1500, S&P 400, S&P MIDCAP 400, S&P 600, S&P SMALLCAP 600, S&P GIVI, GLOBAL TITANS, DIVIDEND ARISTOCRATS, Select Sector, S&P MAESTRO, S&P PRISM, S&P STRIDE, GICS, SPIVA, SPDR, INDEXOLOGY, iTraxx, iBoxx, ABX, ADBI, CDX, CMBX, MBX, MCDX, PRIMEX, HHPI, 及び SOVX は、S&P Global, Inc. (以下、「S&P Global」という) またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES, DJIA, THE DOW, 及び DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標です。これらの商標は、その他と一緒に S&P Dow Jones Indices LLC にライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLC の書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P DJI が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P DJI が提供する全ての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P DJI は、第三者にその指数をライセンス供与すること、及びカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P DJI は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P DJI は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P DJI は投資顧問会社、商品投資顧問業者、受託者、「プロモーター」(1940年投資会社法(改訂)において定義されている)、または「エキスパート」(合衆国法典第15編第77条(15 U.S.C. § 77k)内に列挙されている)ではなく、また S&P DJI はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。S&P DJI は税金の顧問会社ではありません。指数に証券が含まれることは、S&P DJI がかかる証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するものではなく、投資または取引のアドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容(指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット)またはそのいかなる部分(「内容」)も、S&P DJIによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。

ん。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P DJI及びその第三者データプロバイダーならびにライセンサー(総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」)は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含むがこれに限定されない)、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、及び格付け、リサーチ及び評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサー及び/またはS&P Global Market IntelligenceといったS&P Globalのその他の部門を含むがこれに限定されない、S&P Dow Jones Indicesの関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析及び発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析及び格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問及び/または顧客のスキル、判断及び経験またそれらの代わりとなるものでもありません。S&P Dow Jones Indices LLCは、受託者または投資顧問会社としては行動しません。S&P Dow Jones Indicesは、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、S&P Dow Jones Indicesは、受領する情報の監査を行ったり、デューディリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。S&P DJIは、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因(S&P DJIが管理できない外部要因を含む)により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、S&P Global Ratingsは、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。S&P Dow Jones Indicesは、S&P Global Ratingsを含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。S&P Dow Jones Indices LLCの関連会社は、S&P Global Ratingsを含め、その格付け及び特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかるS&P Dow Jones Indicesの関連会社は、S&P Global Ratingsを含め、その意見及び分析を普及させる権利を留保します。S&P Global Ratingsからの公開格付け及び分析は、そのウェブサイト、[www.standardandpoors.com](http://www.standardandpoors.com)(無料)及び[www.ratingsdirect.com](http://www.ratingsdirect.com)と[www.globalcreditportal.com](http://www.globalcreditportal.com)(購読)で利用でき、S&P Global Ratingsの出版物及び第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、[www.standardandpoors.com/usratingsfees](http://www.standardandpoors.com/usratingsfees)から入手できます。

S&P Globalは、その様々な部門及び事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Globalの特定の部門及び事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Globalは、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P Dow Jones Indicesは、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する必要がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準(GICS®)を使用しています。これは、S&P GlobalとMSCIによって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。MSCI、S&P DJI、及びGICS分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類(またはそれを利用することで得られる結果)に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者は全て、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性の全ての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、MSCI、S&P DJI、その関連会社またはGICS分類の作成または

編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害(逸失利益を含む)について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Dow Jones Indicesの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。S&P Dow Jones Indices及び(または)指数データを使用する、これに基づいている、及び(または)これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び(または)配布するには、S&P Dow Jones Indicesからライセンスを取得する必要があります。